

安芸地域アクションプランの進捗状況等について (H23. 6月末)

(1)総評

○ 全項目 (H23年度は34項目) について、実行支援チームを編成し、支援及び進捗管理を実施。全体としては、概ね実施計画に沿って進捗しているが、事業が動きだしたことに伴い、課題も明らかになってきている (観光関係の運営組織の強化など)。

○農業

ナス：

- ・優良品種の導入については、土佐鷹を推進→目標80haに対し28.9ha (H24園年見込み) となっている。
- ・収量増については、18t/10a採りを目標に推進→18t採り達成農家はH22園年：26戸であったが、H23園芸年度は、高収量農家のウエイトが高くなってきている。
- ・まとまりのある産地づくりについては、特に安芸集出荷場管内のまとまりづくりを推進→学び教えあう場の活用等により、受け込み量が増加するなどまとまりにシフトしてきている。
- ・生産者所得と産地のブランド力を向上させるため、土佐鷹の普及拡大と一層のまとまりの形成が課題。

ユズ：

- ・新植・改植については、JA土佐あき管内で2haとなっている。
- ・ユズ園の適正管理の仕組みづくりについては、北川村においてユズ銀行を設立 (H21.10)、収穫・剪定作業の補完等を実施。
- ・一方、JA馬路村では、ユズ茶加工ラインが建設され製造販売に着手 (H22.11～)。
- ・JA土佐あき北川支所では搾汁機能の高度化が行われ (H21.10) また、H21は豊作で過去にない集荷実績となり販売に苦慮したが、販路開拓により飲料企業との取引が拡大している。
- ・中山間地域の基幹品目であるユズを、生産者が安心して持続的に栽培できる環境整備 (搾汁や加工の高度化、安定取引の実現等) が課題。

環境保全型農業の更なる推進：

- ・土着天敵技術の導入などにより、ピーマンでは天敵導入率が100%となったほか、他の品目でも拡大している。この結果、ナスではエコシステム栽培が約80%となり、販売面でも活かされている。

○林業

「森の工場」：4工場増え12工場 (4,433ha、H23.3末) となっている。

事業体や担い手の育成：

- ・林業事業体数は9事業体。林業従事者は221人 (H22対前年104.5%) となっている。
- ・素材生産量は67,827 m³ (H21：対前年比88.8%) と減少傾向にある。長期の価格低迷が重くのしかかっている。
- ・林業・木材産業を業として成り立たせ、森林所有者への利益還元、持続可能な森林経営の回復に向けた更なる取り組みが課題。

加工品：

- ・エコアス馬路村において、ギフト、ノベルティ商品を新たに開発し試験販売を開始 (4品)。
- ・また、既存製品を中心に、国内・海外の展示会へ積極的に出展し、これまで成約が国内11件、海外6件となっている。
- ・更なる販路獲得が課題。

木質バイオマス：

- ・木質ペレットボイラーは安芸市と芸西村で62台導入、一方、木質ペレット製造工場も完成し製造を開始している (安芸市企業、H22.10～)。
- ・全ペレットの年間を通じた販路の確保 (域内循環)、ペレット原材料の安定確保 (林地残材の有効利用)、素材業者との連携強化が課題。

土佐備長炭：

- ・新たな共同窯・研修窯を設置し、生産量の拡大を図りながら、新規製炭者の確保と育成に着手している。
- ・原木の安定確保と製品の安定供給体制の確立が課題。

○水産業

キンメダイ：

- ・10. 1億円の水揚げ（H22対20年107.7%）。脂肪含有率の測定結果、アドバイザーを活用した市場調査結果をふまえ、ターゲットエリアを関西圏にするなど、ブランド化の方向付けを行った。

低価格魚の付加価値づけ：

- ・加工業者と漁協の連携による販売事業（まずはメサバ）を展開。サバの不漁により計画を下回る状況で推移していたが、平成23年度に入りほぼ計画どおりの販売実績で推移している。
- ・雇用の拡大（11名）にもつながっている。

新たな漁業の導入：

- ・アカムツなど深海縄漁業の試験操業を開始（H21～）。

ダイビング事業：

- ・事業実施主体が不在などにより進展していない。

観光分野と連携：

- ・干物づくり体験（海の駅とろむ）をはじめ、室戸市内の飲食店では、秋まつり御膳（キンメダイ）などの旬の味の提供が始まっている。

○商工業分野

室戸海洋深層水：

- ・業界（深層水企業クラブ）が中心となった販路拡大（H22 127億円）と新分野への利用拡大に向けた研究開発に取り組んでいる。（成長戦略）。

地域資源を活用した加工品開発：

- ・田野町や芸西村で直販所を中心とした加工品の開発、施設の増改築による機能強化が図られている。

○観光分野

新たな観光資源の磨き上げ：

- ・「魚梁瀬森林鉄道遺産」ではJTBツアーの催行、「室戸ジオパーク」は世界申請国内候補に決定されるなど取組みが実を結び始めている。

地域資源の有機的な結びつけ：

- ・定期周遊バスの運行（H21～）。分野別の体験メニューなどを紹介する観光素材集「東方見聞録」を作成し、旅行エージェント等への営業に活用。

「ごめん・なはり線」を活用した取組：

- ・定期周遊バスとの連携、ジオパークパスを実施するなど、ごめん・なはり線を活用したコースメニューの提案を実施（乗車実績としては、周遊バス：H22.1.16～H23.6.30 1,790名、ジオパークパス：H22.10.1～12.12.12 12名、H23.4.1～6.30 7名）。

「龍馬伝」を活かした取組：

- ・岩崎弥太郎や中岡慎太郎を輩出した地域として、地域での滞在がより魅力あるものとなるよう、ボランティアガイドの育成、ウォーキングコースやレンタサイクルコースの設定、「中岡慎太郎館」のリニューアル、また、特産品の開発などを行った。
- ・H22：弥太郎生家には20万人強（前年比約200倍）が来訪、中岡慎太郎館には2万8千人強（前年比約4倍）の来場があった。

○ うまくいっていない事例

No5「土佐ジローの生産拡大と地域の活性化」（有はたやま夢楽）：

- ・地域外在住者（地域内にユズ栽培に来ている農家等）からの反対があり、現計画地での生産拡大は断念。
- ・計画箇所の代替地（6ヶ所）については模索したが適地がない状況。（加工商品開発と経営改善を進めるとと

もに既存鶏舎の環境対策を継続実施。)

○ 県産業振興総合支援事業費補助金及びアドバイザーの導入状況 (23年6月末現在)

		農畜産業	林業	水産業	商工業	観光	計
県産振補助金 (一般)	H21	1	3	1		6	11
	H22	1	3			4	8
	H23				1	3	4
〃 (ステップアップ)	H22			1	1		2
	H23					1	1
産振アドバイザー	H21	1		1		2	4
	H22			2		1	3
	H23						

(2) 具体的な動き

① 地域の重点的な取組

重点的に取り組む施策	取組状況等																								
<p>二つの日本一を有する産地機能の維持・強化 「No.1. まとまりのあるナスの産地づくり」 (JA土佐あき)</p>	<p><取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地研修会 (延べH21:103回→H22:99回) ・研究会 (なす部会) (延べH21:48回→H22:48回) ・土佐鷹勉強会 (延べH21:25回→H22:19回) ・安芸市の地区会 (延べH21:14回→H22:16回) <p><成果等></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21 園年</th> <th>H22 園年</th> <th>H23 園年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学び教え合う場</td> <td colspan="3">10 地区設置→参加者(328→334人)</td> </tr> <tr> <td>高収量農家</td> <td>68 戸</td> <td>26 戸</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ナス出荷量前年比</td> <td>104%</td> <td>91.9%</td> <td>111.5%(~5月)</td> </tr> <tr> <td>エコシステム培</td> <td>420 戸</td> <td>449 戸</td> <td>564 戸</td> </tr> <tr> <td>土佐鷹作付け面積</td> <td>15.3ha</td> <td>23.6ha</td> <td>24.4ha</td> </tr> </tbody> </table> <p><課題>・土佐鷹の更なる推進・特に安芸集出荷場管内のまとまりの形成 (ターゲットを明確化と現地研修会、研究会等の更なる活性化による)</p>		H21 園年	H22 園年	H23 園年	学び教え合う場	10 地区設置→参加者(328→334人)			高収量農家	68 戸	26 戸		ナス出荷量前年比	104%	91.9%	111.5%(~5月)	エコシステム培	420 戸	449 戸	564 戸	土佐鷹作付け面積	15.3ha	23.6ha	24.4ha
	H21 園年	H22 園年	H23 園年																						
学び教え合う場	10 地区設置→参加者(328→334人)																								
高収量農家	68 戸	26 戸																							
ナス出荷量前年比	104%	91.9%	111.5%(~5月)																						
エコシステム培	420 戸	449 戸	564 戸																						
土佐鷹作付け面積	15.3ha	23.6ha	24.4ha																						
<p>「No.2. ユズを中心とした中山間地域の農業振興」 (JA土佐あき)</p>	<p><取組と成果等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユズ搾汁施設 (総事業費3億7359万) がH21.10 竣工 (北川村) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20 年作</th> <th>H21 年作</th> <th>H22 年作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>搾汁実績</td> <td>1,190 t</td> <td>2,070 t</td> <td>1,303t</td> </tr> <tr> <td>搾汁率</td> <td>16.9%</td> <td>17.9%</td> <td>18.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>ユズ銀行 1組織 (H21.10.1 設立)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲料企業との取引拡大 (H22 JA土佐あき) ・ユズ茶加工ライン (総事業費8千万) H22.10 新設 (JA馬路村) 		H20 年作	H21 年作	H22 年作	搾汁実績	1,190 t	2,070 t	1,303t	搾汁率	16.9%	17.9%	18.4%												
	H20 年作	H21 年作	H22 年作																						
搾汁実績	1,190 t	2,070 t	1,303t																						
搾汁率	16.9%	17.9%	18.4%																						
<p>(JA馬路村)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21 年度</th> <th>H22 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>販売実績 (既OEM込み)</td> <td>88,526 千円</td> <td>92,054 千円</td> </tr> <tr> <td>雇用</td> <td></td> <td>1名増</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・生産履歴 (管内JA) (3月末) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20 年作</th> <th>H21 年作</th> <th>H22 年作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記帳率</td> <td>90.9%</td> <td>94.2%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p><課題>ユズ果汁の販売強化、青玉出荷率の向上 (JA土佐あき) ユズ商品の販売拡大 (JA馬路村)</p>		H21 年度	H22 年度	販売実績 (既OEM込み)	88,526 千円	92,054 千円	雇用		1名増		H20 年作	H21 年作	H22 年作	記帳率	90.9%	94.2%	100.0%							
	H21 年度	H22 年度																							
販売実績 (既OEM込み)	88,526 千円	92,054 千円																							
雇用		1名増																							
	H20 年作	H21 年作	H22 年作																						
記帳率	90.9%	94.2%	100.0%																						

<p>環境保全型農業のさらなる推進</p> <p>「No.3. 環境保全型農業のさらなる推進」 (JA土佐あき)</p>	<p><取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・GAPチェックシートの地域版(施設野菜、露地野菜、ユズ)を提示 実施率 H21 58%、H22 88% ・集出荷場GAPの推進のため、各場の衛生管理チェックを巡回 ・天敵温存ハウス設置グループの交流を推進(安芸市) <p><成果等> (3月末)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20年</th> <th>H21年</th> <th>H22年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土着天敵温存ハウス 設置グループ</td> <td>12グループ 58a</td> <td>17グループ 70a</td> <td>17グループ 70a(3月末)</td> </tr> <tr> <td>天敵導入率 ナス</td> <td>25.6%</td> <td>30%</td> <td>53%(3月末)</td> </tr> <tr> <td>〃 ピーマン</td> <td>94.5%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>エコシステム登録数 (ナス類・ピーマン類)</td> <td>508戸</td> <td>528戸</td> <td>644戸 (3月末)</td> </tr> </tbody> </table> <p><課題>エコシステム栽培の更なる推進</p>		H20年	H21年	H22年	土着天敵温存ハウス 設置グループ	12グループ 58a	17グループ 70a	17グループ 70a(3月末)	天敵導入率 ナス	25.6%	30%	53%(3月末)	〃 ピーマン	94.5%	100%	100%	エコシステム登録数 (ナス類・ピーマン類)	508戸	528戸	644戸 (3月末)																	
	H20年	H21年	H22年																																			
土着天敵温存ハウス 設置グループ	12グループ 58a	17グループ 70a	17グループ 70a(3月末)																																			
天敵導入率 ナス	25.6%	30%	53%(3月末)																																			
〃 ピーマン	94.5%	100%	100%																																			
エコシステム登録数 (ナス類・ピーマン類)	508戸	528戸	644戸 (3月末)																																			
<p>豊かな森林資源を活かす森林再生への取組</p> <p>「No.7. 林業再生事業(「森の工場」づくりなど)」 (森林組合)</p> <p>「No.9. 木質バイオマス活用事業」 (安芸市、芸西村)</p> <p>「No.10. 林業加工品の販売の促進」 (エコアス馬路村)</p>	<p><取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案型施業のベースとなる提案書入力フォームの作成→精度向上を継続 ・国土調査データ、施業履歴等を元に森林情報の更新を継続 ・雇用：東部森林組合に事務員を1名雇用(H21.8～) <p><成果等></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20末</th> <th>H21末</th> <th>H22末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森の工場</td> <td>8工場</td> <td>9工場</td> <td>12工場</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>2,593ha</td> <td>3,034ha</td> <td>4,433ha</td> </tr> <tr> <td>間伐面積</td> <td>1,064ha</td> <td>1,286ha</td> <td>1,278ha 見込み</td> </tr> </tbody> </table> <p><課題>効率的な作業道や施業システムの整備(担い手の確保育成につなぐ)</p> <p><取組と成果等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・木質ペレットボイラーの設置 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21年度</th> <th>H22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芸西村</td> <td>25基(繰)</td> <td>21基(繰)</td> </tr> <tr> <td>安芸市</td> <td></td> <td>9基</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・木質ペレット製造工場完成、運転開始(H22.10～、安芸市企業) <p><課題>全木ペレットの年間を通じた販路の確保(域内循環) ペレット原材料の安定確保(林地残材の有効利用) 素材業者との連携強化 燃焼灰の処理</p> <p><取組と成果等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・モナッカ新作バックを製品化(H21 本金型導入) ・新商品の開発 H21：デザイン募集→新商品(5点)を試作 H22：内4点について試験販売に向け着手(試験販売用金型導入) ・展示会等への出展 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21年度</th> <th>H22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国内</td> <td>インテリアライフスタイル(6/3～5) IPEC出展(11/11～13)</td> <td>インテリアライフスタイル(6/2～4) IPEC出展(11/17～19) まるごと高知(2/17～18)</td> </tr> <tr> <td>国外</td> <td>フランス(1/22～26)</td> <td>ニューヨーク(8/15～19)</td> </tr> <tr> <td>成約数</td> <td>12件(既存商品)</td> <td>5件(既存商品)</td> </tr> </tbody> </table> <p><課題>販路獲得</p>		H20末	H21末	H22末	森の工場	8工場	9工場	12工場	〃	2,593ha	3,034ha	4,433ha	間伐面積	1,064ha	1,286ha	1,278ha 見込み		H21年度	H22年度	芸西村	25基(繰)	21基(繰)	安芸市		9基		H21年度	H22年度	国内	インテリアライフスタイル(6/3～5) IPEC出展(11/11～13)	インテリアライフスタイル(6/2～4) IPEC出展(11/17～19) まるごと高知(2/17～18)	国外	フランス(1/22～26)	ニューヨーク(8/15～19)	成約数	12件(既存商品)	5件(既存商品)
	H20末	H21末	H22末																																			
森の工場	8工場	9工場	12工場																																			
〃	2,593ha	3,034ha	4,433ha																																			
間伐面積	1,064ha	1,286ha	1,278ha 見込み																																			
	H21年度	H22年度																																				
芸西村	25基(繰)	21基(繰)																																				
安芸市		9基																																				
	H21年度	H22年度																																				
国内	インテリアライフスタイル(6/3～5) IPEC出展(11/11～13)	インテリアライフスタイル(6/2～4) IPEC出展(11/17～19) まるごと高知(2/17～18)																																				
国外	フランス(1/22～26)	ニューヨーク(8/15～19)																																				
成約数	12件(既存商品)	5件(既存商品)																																				

<p>漁家所得向上への取組</p> <p>「No.11. キンメダイのブランド化に向けた取組」 〔 芸東水産業改良普及協議会：室戸市・奈半利町 〕</p> <p>「No.13. 低価格な定置網漁獲物の販売戦略」 (室戸市) (県漁協、(有)タカシン水産)</p> <p>「No.14. 新たな漁業の導入とシラス魚佃等の向上」など (安芸市) (安芸おじゃ娘、青年漁業者グループ)</p>	<p><取組等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・キンメ脂肪含有量測定装置を導入 →測定データを蓄積(H21. 12～) ・ブランド化の方向性の検討 (H22) ・アドバイザーを活用し市場調査 (H22) →ターゲットエリアを関西とする ・PRグッズ (ポスター、レシピ、のぼり等) を作成 (H22) ・室戸漁業指導所管内に、釣りで漁獲され水揚げされたキンメダイを「土佐沖どれキンメダイ」として、関西市場をメインターゲットに販促活動を展開することを決定 (H22) ・関西市場関係者 (荷受、仲買人) を対象とした産地交流会に参加し、キンメダイのPR活動を実施 (H23) ・測定用キンメを使った料理レシピの研究、商品開発・改良(H21. 12～) (商品例 炊き込みご飯) <p><課題>ブランド化、販路の拡大 規格別にターゲットを絞った販促活動の展開</p> <p><取組と成果等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産加工施設の整備 (総事業費 56, 712 千円) H22. 2 (タカシン水産) ・「シメサバ」完成 (H22. 11) ・他魚種での新商品開発 (H23. 1 キンメ酢じめ) ・雇用 正職員 2 名、パート 9 名(H22. 2～) ・販売実績 <table border="1" data-bbox="667 898 1273 1104"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21 年度</th> <th>H22 年度</th> <th>H23 年度</th> </tr> <tr> <th>期 間</th> <th>3 月</th> <th>4 月～3 月</th> <th>4 月～6 月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月平均 販売金額 (千円)</td> <td>1, 805</td> <td>2, 920</td> <td>5, 268</td> </tr> </tbody> </table> <p>※今年度の販売実績 (4～6 月平均) は昨年の年間平均の約 1. 8 倍で推移</p> <p><課題>企業、漁協、行政の連携体制の強化 県漁協との連携による新商品開発と販路の確保</p> <p><取組と成果等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラス佃煮 (おじゃ娘) 等を開発 (H21) 売上 H21 約 60 万円 H22 約 200 万円 H23. 5 時点 約 20 万円 ・深海縄漁業の試験操業 (H21～) <p><課題>試験操業によるアカムツなど深海性魚類資源の確認及び操業方法や漁場の習熟 シラス魚佃向上のための加工業者等との連携や加工処理能力の向上</p>		H21 年度	H22 年度	H23 年度	期 間	3 月	4 月～3 月	4 月～6 月	月平均 販売金額 (千円)	1, 805	2, 920	5, 268
	H21 年度	H22 年度	H23 年度										
期 間	3 月	4 月～3 月	4 月～6 月										
月平均 販売金額 (千円)	1, 805	2, 920	5, 268										
<p>1. 5 次産業化の推進</p> <p>「No.20. 道の駅「田野駅屋」の機能強化」 (田野町、田野駅屋)</p>	<p><取組と成果等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工品 7 品目(たのかつ、鯖コロッケ、チーズプリン、カボチャプリン、鯖くん、鯖飯の素、漁港のがんも)を開発 (H21) →イベント等への参加 ・試作品の検討 (コロッケ、カレーライス) (H22) ・HP開設に着手 (H22) ・増改築工事を実施(H22、74 m²増) ・雇用 3 名 (H22. 2～) <p><課題>田野駅屋を中心とした情報発信機能の強化 地場産品を活用した魅力ある特産品 (加工品) の開発、販売</p>												

<p>広域的に連携した観光の仕組みづくり</p> <p>「No22. 体験型観光の旅行商品化と販売・受入体制の整備」 (安芸広域市町村圏事務組合)</p>	<p><取組と成果等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光素材集、DVDの作成 (H21) ・龍馬であい博の県外PRキャンペーンへの参加 (H21) ・東部交通において1名(ランドオペレータ)の専従職員を確保(H22.6～) ・県外エージェントのモニターツアー・意見交換会を実施(H22.6.2、H23.3.10) ・県外エージェント等へのPR・営業展開(東京H23.1、大阪H23.2、名古屋H23.2.、山陰・山口H23.6) <p><課題>ランドオペレーターを核としたネットワーク体制の構築</p>
---	--

② 上記以外で特に動きのあった取組

地域アクションプランの項目名	取組状況 (<課題>、結果、成果等)																					
<p>「No8. 土佐備長炭生産・出荷・販売体制の強化事業」(室戸市、東洋町) (室戸市木炭振興会、土佐備長炭生産組合)</p>	<p><取組と成果等></p> <table border="1" data-bbox="678 548 1300 683"> <tr> <td>室戸市</td> <td>H21 年度</td> <td>H22 年度</td> </tr> <tr> <td>研修窯設置</td> <td>2 基</td> <td>1 基</td> </tr> <tr> <td>研修受入</td> <td></td> <td>5 名</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="678 716 1300 884"> <tr> <td>東洋町</td> <td>H21 年度</td> <td>H22 年度</td> </tr> <tr> <td>共同窯設置</td> <td>2 基</td> <td>1 基</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>製品保管庫整備 (H22)</td> </tr> <tr> <td>研修受入</td> <td></td> <td>2 名</td> </tr> </table> <p>・製炭能力増(2市町) H21 46 t→H22 69 t</p> <p><課題>生産出荷販売体制の強化と新規製炭者の育成</p>	室戸市	H21 年度	H22 年度	研修窯設置	2 基	1 基	研修受入		5 名	東洋町	H21 年度	H22 年度	共同窯設置	2 基	1 基			製品保管庫整備 (H22)	研修受入		2 名
室戸市	H21 年度	H22 年度																				
研修窯設置	2 基	1 基																				
研修受入		5 名																				
東洋町	H21 年度	H22 年度																				
共同窯設置	2 基	1 基																				
		製品保管庫整備 (H22)																				
研修受入		2 名																				
<p>「No. 19」中芸地域食資源を活用した新商品開発及び地域ブランド化 (民間企業)</p>	<p><取組と成果等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・酒粕スイーツ「蔵乃風」の試験販売開始(四国部品株式会社)(H22) 原材料(かぼちゃ、むらさきいも、しょうが、抹茶、酒粕) 販売先 田野駅屋、土佐ロイヤルホテル、高知龍馬空港 11/27～29 東京池袋サンシャインシティでの全国物産市への出店 新商品「蔵乃風ー美丈夫純米大吟醸」を開発・試験販売開始(H23) 販売先拡大 高知新阪急ホテル、ひろめ市場(H23) ・酒粕ドレッシング試作(ダイイチダルマ食品株式会社)(H22) 原材料(主原材料:酒粕、ゆず果汁) <p><課題>製造業者の確定と管理体制の強化 試作商品の製品化への取り組み(ネーミング・パッケージ・販売価格等) 販売場所及び体制の確立</p>																					
<p>「No23. 地質資源を活かした交流人口の増加」 (世界ジオパークに向けた取組) (室戸市) (室戸ジオパーク推進協議会、室戸市観光協会)</p>	<p><取組と成果等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界ジオパーク国内候補に決定(H22.9)、世界申請提出(H22.11) 世界の現地審査受験(H23.7.12～15) ・遊歩道、案内板、駐車場の整備を実施(H21～) <table border="1" data-bbox="678 1612 1300 1780"> <tr> <td></td> <td>H21 年度</td> <td>H22 年度</td> <td>H23 年度</td> </tr> <tr> <td>案内板</td> <td>1 2 基</td> <td>2 8 基</td> <td>36 基(予定)</td> </tr> <tr> <td>遊歩道</td> <td>6 5 m</td> <td>1 5 7 m</td> <td>測量中</td> </tr> <tr> <td>駐車場</td> <td></td> <td>1 ヶ所</td> <td>1 ヶ所(予定)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・インフォメーションセンターを整備(H22.5) ・ガイド育成 20名、H22 ガイド対応数 836人(～2月)(H21 563人) ・H22.8 地震火山子どもサマースクール、日韓合同地質学会 ・各地区単位での研修会等を実施→地域住民の盛り上がり ・事務局体制 H21 3名、H22 5名、H23 7名 ・H23.4 室戸市にジオパーク推進課設置 ・H23.5 ジオパークPRイベントジオクエスト開催 ・H23.5 ジオパークマスター 43名認定 <p><課題>推進組織の体制強化</p>		H21 年度	H22 年度	H23 年度	案内板	1 2 基	2 8 基	36 基(予定)	遊歩道	6 5 m	1 5 7 m	測量中	駐車場		1 ヶ所	1 ヶ所(予定)					
	H21 年度	H22 年度	H23 年度																			
案内板	1 2 基	2 8 基	36 基(予定)																			
遊歩道	6 5 m	1 5 7 m	測量中																			
駐車場		1 ヶ所	1 ヶ所(予定)																			

<p>「No.24. 「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大」(室戸市) (NPO室戸ドルフィンプロジェクト)</p>	<p><取組と成果等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏場のプログラム強化：スイムの回数増、1回当たりの人員増 ・主要国道沿いへの広告看板の設置(2ヶ所、H22) ・テレビCMの放映(H22.7～9)64本 ・周辺国道沿いへの広告看板の設置(2カ所、H23.4) ・施設入口サインの設置(1カ所、H23.4) ・触れ合いフロートの増設(25㎡、H23.4) ・触れ合い台の新設(1基H23.4)→新触れ合いプログラムの開発 <table border="1" data-bbox="678 376 1281 542"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21年度</th> <th>H22年度</th> <th>H23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来場者数</td> <td>23,315人</td> <td>22,181人</td> <td>5,490人</td> </tr> <tr> <td>収入前年比</td> <td>126%</td> <td>112%</td> <td>103%</td> </tr> <tr> <td>雇用</td> <td></td> <td colspan="2">1名(H22.6～)</td> </tr> </tbody> </table> <p><課題>更なる情報発信の徹底による来場者増</p>		H21年度	H22年度	H23年度	来場者数	23,315人	22,181人	5,490人	収入前年比	126%	112%	103%	雇用		1名(H22.6～)	
	H21年度	H22年度	H23年度														
来場者数	23,315人	22,181人	5,490人														
収入前年比	126%	112%	103%														
雇用		1名(H22.6～)															
<p>「No.26. 「龍馬伝」から「志国高知龍馬ふるさと博」への観光推進」(安芸市) (「はまばたけ弥太郎・龍馬伝」安芸市推進委員会)</p>	<p><取組と成果等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品開発 H21：とっとり酒「えい彌」、ゆず和菓子「弥太郎くん」等5品目 H22：土佐ジローカレー等3品目 ・レンタサイクル、ウォーキングコースの設定(H22.1～) ・広域周遊バスの運行(H22.1～) ・ボランティアガイドの育成(H21:7回、H22:5回研修開催)総数約40人 ・弥太郎生家、土居廓中など主要観光スポットの説明看板等を整備 ・安芸「釜あげちりめん井」楽会設立(H22.11) ・雇用3名(H22.5～) <p><課題>安芸観光情報センターの機能の発揮</p>																
<p>「No.29. 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大」(中芸5ヶ町村) (中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会)</p>	<p><取組と成果等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要文化財指定記念シンポジウム、見学会の実施(H21.10 150名参加) ・林鉄のガイドの育成(研修会H21:3回、H22:7回)14名 ・ホームページの作成・案内看板の設置(19箇所)(H21) ・シンボルマーク商品作成(ガイド用スタッフTシャツ、ジャンパー)(H21) ・観光ビデオの作成、遊歩道、駐車場の整備(H22) ・スタッフ2名の雇用(緊急雇用H22.10～、ふるさと雇用H23.4～) ・ツアー関係 H22:4月 JR四国ツアー実施(23名参加) H21:11月 モニターツアー(150名参加 宿泊客25名) H22:6.30～12.7 JTBメディア(旅物語)ツアー(1,008名参加) 12月 阪急交通社ツアー(46名参加) 12月 土佐くろしお鉄道 特別企画ウォーキング(110名参加) H23:3月 クラブツーリズム大阪(62名参加) ・魚梁瀬森林鉄道開通100周年記念事業実行委員会設立(H23:6月) ・写真展開催(H23:6.19～7.3) <p><課題>5ヶ町村広域の窓口の設置(行政・民間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイド等受入体制の強化(増員、レベルアップ、スルーガイドの養成) 																

<p>「No.30. ふるさと海岸を中心とする海洋資源を活用した観光」(奈半利町)</p>	<p><取組と成果等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・H21：海浜センターを整備 (H22. 5 オープン) カヤック(11 艇)、ウェットスーツ(15 着)等整備 ・H22：4/10 シーカヤックガイド研修(11 名参加) 4/16 藤沢アドバイザーによるガイド研修 (10 名参加) 11/13, 14 シーカヤック・シュノーケリングガイド研修 (10 名参加) ・ガイド4名 (非常勤) 、シーカヤック体験者実績 (29 日稼働 250 名) ・雇用 1 名 (H22. 5～10) ・H23： ・(有) なはり観光文化協会への指定管理 ・ガイド4名 (非常勤) ・シーカヤック体験者実績 (5～6 月、3 日稼働8 名) ・雇用 2 名 (H23. 4～ なはり観光文化協会 1 名、H23. 5～10 奈半利町役場 1 名) <p><課題>ガイドの養成、総合的な体験観光プログラムの構築</p>
<p>「No.31. 体験型観光への取組」 ～大野台地はえいところ！～ (大野倶楽部)</p>	<p><取組と成果等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・H21：体験メニュープラン策定、体験型観光試行に向けた基礎準備 ・H22：4/8 大野台地ブログ開設 5/16 体験メニュー「カレーなるジャガイモ収穫体験」の実施 参加人数100 名 メニュー ・じゃがいも収穫体験・女性部によるカレーライス他 オプションイベント トラクター乗車体験等 7/22～23 稲田塾体験合宿受入れ (交流活動) 実施 参加者 26 名 受入れ先：民家6軒に分れて宿泊→H23. 7 月実施決定 ・H23：大野倶楽部HP開設 ・H23：5/14 ごめん・なはり線ウォーキングでジャガイモの収穫体験 参加人数80 名 <p><課題>大野倶楽部会員外の地区住民に対する今後の協力要請等を踏まえた情報周知→各種イベント等への参加を呼びかけ</p>
<p>「No.32. 古民家と地場産品販売施設等を活かした交流人口の拡大」(安田町)</p>	<p><取組等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・古民家 (旧柏原邸、旧市川医院) を修復 (H21～22、延床312 m²) ・改修中の見学会を実施 (H21. 9 約30 名参加) ・愛称を「安田まちなみ交流館・和」としてオープン (H22. 9) 観光などの案内、情報の発信の施設として活用 職員1 名雇用 (H23. 1～) ・ガイドの育成 →2 名 安田まちなみ雑踏衆によるガイド勉強会、研修会への参加 (3 回) ウォーキングツアー等への参加者 200 名 ・土佐の町家雑祭りの安田町の拠点 (3 月開催) H22 安田町に1,000 人来場 H23 2,000 人来場 ・H23. 3～年内予定 企画展「龍馬・心のふるさと展」を開催 ・商品開発の取組み (輝るぼーと安田) (しゃもバーグおこぎり) ・ごめん・なはり線ウォーキングで町並みガイド (H23. 5 73 名参加) ・安田の夢プラン推進会設立 (H23. 6) <p><課題>町民一体となった活用の具体化→ボランティア団体の組織力の強化</p>

<p>「No.33. 龍馬伝を活かした観光振興」(北川村)</p> <p>(龍馬伝・慎太郎推進協議会)</p>	<p><取組と成果等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中岡慎太郎館のリニューアル (H22. 1 完成) ・イベント等 <ul style="list-style-type: none"> H21. 7～8 月、10 月 幕末体験村の実施 (試験的に開催) H22. 1～2 月上旬 リニューアルにあわせた企画展の開催 4 月 中岡慎太郎向学の道マラソン開催 (ランナー400名、スタッフ 320名) 4/29～6/28 7/10～9/12 志の時代展 8 月 慎太郎ウォーキングの開催(参加者 168 名、スタッフ 76 名) 11 月 上川隆也トークショーの開催 (350 名) ・H23. 4～5 月 幕末体験村の実施 ・H23. 5 月 小島頌徳碑建設 100 周年イベント ・H23. 5 月 春の北川村を巡るウォーキングでガイド (参加者 19 名) ・入場者数及び対前年比 <ul style="list-style-type: none"> 慎太郎館入場者数:28,487 人 対H21 401.6% (リニューアル〜であい博終了まで) H23 (4～6 月) 3,470 人 対H22 38.5%、対H21 172.6% ・雇用 2名 (H21. 6～) ・ゆずサイダーであい博缶の開発、販売 (龍馬伝関連) <p><課題>更なる誘客と域内周遊の強化</p>
<p>「No. 34」世界に2つの「モネの庭」誘客強化事業</p> <p>(北川村・きたがわジャルダン)</p>	<p><取組と成果等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多目的ホールの整備 (H23. 3 完成) うんのともえ展開催 (4/8～5/10) ・TV番組の制作の発注 <ul style="list-style-type: none"> 四国+岡山県で3月の毎週末放送 (1 話 5 分、全 4 回) (H22 産振補助金 27,964 千円) ・雇用 1名 (H23. 3～) ・小庭園の整備 (H23. 6 月) <ul style="list-style-type: none"> (H23 産振補助金 38,018 千円) ・ふるさと博関連イベント <ul style="list-style-type: none"> 春の宴 (4/2, 3)、春のガーデニング教室 (4/16, 17) 春の睡蓮開花鑑賞会 (5/12～5/15)、睡蓮フェスティバル (6/1～6/30) 睡蓮とジュエンプライドの世界 (6/18, 19) <p><課題>誘客対策の強化</p>

2 地域アクションプランへの追加・修正等の状況

(1) 地域アクションプランの追加項目 (H21～)

- 地場産品直販所「かっぱ市」の機能強化 (H22. 3)
- 中芸地域食資源を活用した新商品開発及び地域ブランド化 (中芸 5 ヶ町村) (H22. 9)
- 世界に2つの「モネの庭」誘客強化事業 (北川村) (H22. 9)

(2) 地域アクションプランからの削除項目 (H21～)

- 森林情報のデータベース化 (成長戦略の中で県下的に継続的に取組んでるテーマであることから) (H23. 2)
- 新たな地域資源としてリュウゼツランの活用の検討 (現段階で事業主体となるものがない) (H23. 2)
- 安田川の清流資源を活かした交流人口の拡大 (まずは環境改善等を目指し継続的に取組む) (H23. 2)
- ◎ 土佐ジローの生産拡大と地域の活性化 (H23. 9)

(3) その他

地域本部への相談 (H23)

(件数)

	農畜産業	林業	水産業	商工業	観光	その他	計
件数	3						
内アクションプランに反映 (予定含む。)							